



独自の取り組みで
佐世保に貢献できる企業へ。

金属加工業 株式会社 中野エンジニアリング

平成8年に株式会社西日本工業より新規事業部門、管理業務部門を独立し、創業。主に建物や設備の配管を設計・製作し、現地据え付けまで行っている。県内では珍しい特殊加工（フレア加工工法）機を導入し、短工期での現地施工を可能にするなど、独自性が武器。製造業に新たな風を吹き込むべく、令和5年4月より三代目に女性社長が就任し、若手社員の教育にも力を注いでいる。

事業のテーマ

船舶用大口径プレハブ配管加工への
特化・効率化による売上増

事業のきっかけ

主製品（船舶用配管、プラント向け及び環境機器用高圧配管）の加工において、大口径配管の加工は外注依存度が高く、コスト・品質・納期管理に問題が多く、受注拡大への事業展開が滞る原因となっていた。

また、これまでは鋸盤での切断可能なパイプ以外の切断は手作業で行っていた。手作業では型紙準備、罫書き等の事前工数が必要であり、時間がかかる。こうした課題を一気に解決するため、新設備の導入を決めた。

事業内容・成果

今回導入したのは「NCパイプ切断装置」と「二次元ポジショナー」。手作業では型紙準備、罫書き等の事前工数が必要であったが、導入後は数値入力のみで切断が可能となった。これにより、作業時間の短縮だけでなく、データを活用することで量産体制が確立した。また組み付け後の溶接に関しても、二次元ポジショナーによって溶接精度の向上と工数削減が可能となった。

新設備の導入により、これまで外注に出していたものを自社で製造できるようになったことに加え、新たな新規の受注が獲得できるようになったことも大きな成果であった。

今後の展望

今後は独自の設備を活用して、当社にしかできない製品づくりを進めていく。さらには、女性の視点を活かして、グループの企業理念である「好きです難しいこと目指しています鉄工所のようにない鉄工所」を実現することで、若者の雇用につなげていきたい。

●ものづくり補助金活用

作業時間が

↓
1/2になった!

コストカット、精度の向上はもちろん、
大口径のプレハブ配管加工が自社で製造可能になった。



株式会社中野エンジニアリング
長崎県佐世保市針尾北町813番地1
TEL/0956-38-1050 FAX/0956-38-4255
HP/<https://nishinonkogyo.co.jp/nakano>
代表取締役/中野 陽子
設立/1996年10月14日
資本金/10,000,000円
業種/金属加工業
従業員数/4名